

NEWS

三菱ガス化学、包接化CoQ₁₀原料の供給を開始 シクロケム社と技術提携

三菱ガス化学(株) (東京都千代田区、☎03-3283-4772) は米国ワッカーケミカルコーポレーション社の日本総代理店である(株)シクロケムと技術提携し、コエンザイムQ10γ-CD包接体の原料供給を開始した。三菱ガス化学製CoQ₁₀原料を米国ワッカーケミカルコーポレーション社で包接化し、日本のみならず海外でも展開していく。同社が包接化原料を扱い始めたことで、包接化CoQ₁₀が市場での新たな流れとして活発化しそうだ。

包接化CoQ₁₀とは、CoQ₁₀をシクロデキストリン(CD)で包み込んだ原料。CDは、グルコースでできた環状オリゴ糖だが、分子の中心に存在する空洞に分子を取り込む「包接」と呼ばれる性質を持つ。現在この技術は食品や医薬品をはじめとしたさまざまな分野で広く実用化されている。シクロケム社はこの現象をいち早く食品分野に活用。CD原料を供給すると同時に技術供与も行い、油性物質を水に溶かししたり、物質の安定性向上や、臭いや

味のマスクングなどに活用してきた。CoQ₁₀の場合、「3種の天然型CDの中でも、特にγ-CDで包接することで溶解速度や血漿中CoQ₁₀濃度を高め、同時に常温で光や酸素に弱く、吸収率が低いといわれるCoQ₁₀の弱点を補う効果が望める」という。シクロケムは、こうしたことを実証すべく臨床試験などで検証し、その結果を発表してきた。

三菱ガス化学では数年前より包接化CoQ₁₀に注目。同社は、「国内外での展開を視野に入れ、当社のCoQ₁₀原料を米国ワッカーケミカルコーポレーション社で包接化し展開する際の細部を交渉。シクロケムと技術提携することが可能になった」としている。

さらに導入に際し、独自にヒト試験を実施。包接化CoQ₁₀の生体への吸収性と持続性を確認したという。同社ではすでに展開する粉末原料『BioQ10』に加え、包接化CoQ₁₀をチュアブルタイプや錠剤用途として提案していく。